

# 安全データシート (SDS)

作成・改訂日：2026年1月20日（最新版修正）

当初作成日：2015年4月6日

## 1. 製品及び会社情報

- 製品名：ガラスの鑑
- 会社名：株式会社クレストヨンド
- 住所：〒719-1153 岡山県総社市穴粟342
- 電話番号：0866-95-0701
- FAX番号：0866-95-0705
- 推奨用途及び使用上の制限：自転車用コーティング剤

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

- 物理化学的危険性：引火性液体（区分2）
- 健康に対する有害性：
  - 急性毒性（経口）：区分4
  - 皮膚腐食性／刺激性：区分2
  - 眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：区分1
  - 特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分3（呼吸器刺激性、麻酔作用）
  - ※加水分解により生成されるメタノールの有害性（生殖毒性、視覚器への障害等）を考慮すること。

### GHSラベル要素

- 絵表示：



- 注意喚起語：危険

- 危険有害性情報：

- 引火性の高い液体及び蒸気
- 飲み込むと有害の疑い
- 皮膚刺激
- 重篤な眼の損傷
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 眠気又はめまいのおそれ
- (反応生成物として) 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ、臓器の障害 (視覚器、中枢神経系)

### 3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別：混合物
- 成分及び含有量：

化学名 (別名)	含有量 (%)	CAS No.	備考
シリコーンオリゴマー	記載なし	営業秘密	加水分解によりメタノールを生成
アルミニウムキレート化合物	記載なし	営業秘密	触媒成分

### 4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移動し、安静にする。不快感や咳が続く場合は医師の診察を受ける。

- ・ **皮膚に付着した場合**：直ちに汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗い流す。異常があれば医師の診察を受ける。
- ・ **目に入った場合**：直ちに清浄な水で少なくとも15分以上洗浄する。コンタクトレンズは容易に外せる場合は外す。その後、直ちに眼科医の診察を受ける。
- ・ **飲み込んだ場合**：口をすすぐ。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断を受ける。

## 5. 火災時の措置

- ・ **消火剤**：粉末消火剤、二酸化炭素、乾燥砂、耐アルコール泡消火剤。
- ・ **使ってはならない消火剤**：棒状注水（火災を広げる恐れがある）。
- ・ **特有の危険有害性**：火災時に刺激性・有毒なガス（シリカ、一酸化炭素等）を発生する。
- ・ **消火を行う者の保護**：消火活動は風上から行い、必ず適切な呼吸保護具（空気呼吸器等）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- ・ **人体に対する注意事項**：付近の着火源を速やかに取り除く。作業者は有機ガス用防毒マスク、ニトリル手袋等の保護具を着用する。
- ・ **環境に対する注意事項**：河川、下水道、土壌への流出を阻止する。
- ・ **封じ込め及び浄化**：漏出した液は土砂やウエスに吸収させて回収し、密閉容器に保管する。水との接触でメタノールが発生するため注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- ・ **取扱い**：
  - 2024年改正安衛法に基づき、事業者は自律的な管理とリスクアセスメントを実施すること。
  - 火気厳禁。静電気対策を行う。

- 換気の良い場所で使用し、蒸気の吸入を避ける。
- 使用後は容器を密栓する（湿気による劣化とガス発生を防ぐため）。
- ・ **保管：**
  - 冷暗所に密栓して保管する。
  - 水、酸、アルカリ化合物との接触を避ける。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- ・ **設備対策：** 屋内作業場では局所排気装置、または全体換気設備を設置する。
- ・ **管理濃度 / 許容濃度（メタノールとして）：**
  - 日本産業衛生学会：200ppm
  - ACGIH (TLV-TWA)：200ppm
- ・ **保護具：**
  - **呼吸器の保護：** 有機ガス用防毒マスク（推奨）
  - **手の保護：** ニトリルゴム製保護手袋
  - **眼の保護：** 保護眼鏡（側板付）、またはゴーグル型
  - **皮膚及び身体：** 長袖作業着

## 9. 物理化学的性質

- ・ **物理的状态：** 淡黄色透明液体
- ・ **pH：** 7.0±0.5
- ・ **引火点：** -10°C（密閉式）
- ・ **発火点：** 200°C以上
- ・ **溶解度：** 水に難溶（加水分解反応あり）

## 10. 安定性及び反応性

- **安定性**：通常の保管条件下では安定。
- **反応性**：水、湿気、酸、アルカリと反応（加水分解）し、有毒で引火性の高い「メタノール」を生成する。
- **避けるべき条件**：日光、高温、火気、湿気。

## 15. 適用法令（最新）

- **労働安全衛生法**：
  - 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
  - **化学物質の自律的管理（2024年4月施行）**：リスクアセスメント実施義務対象
- **消防法**：第4類 第1石油類（非水溶性液体）、危険等級II
- **船舶安全法 / 航空法**：引火性液体
- **化学物質管理促進法（PRTR法）**：非該当（2015年時点。最新の成分含有量により再確認を推奨）